

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 7

NO.153 2018.7.17 発行 TOWN KYOTAMBA

笑顔はじける
夏到来！

竹野小学校プール授業の様子(14ページに記載)

14	13	11	10	09	06	04	02
まちの話題	まちの元気人	いきいき健康術	くらしのガイド	安心ほっと便り	受賞報告	まちの計画	京丹波町消防操法大会



ホースを担いで走る一番員



筒先員を交代する指揮者と一番員



「放水止め」を伝える二番員



号令をかける指揮者

京丹波町 消防操法 大会

6月3日

わち
グラウンド

防火 訓練の成果発揮



二線めのホースを延長する二番員と三番員



火点に向け放水体勢をとる二番員



点検報告をする三番員



丹波支団第二分団

火点へ向けホースを搬送する一番員

6月3日、わちグラウンドにおいて、第6回京丹波町消防操法大会が行われ、各分団が日ごろの訓練成果を発揮しました。操法とは、消火作業の一連の動作で、ポンプ車操法の部は5人一組、小型ポンプ操法の部は4人一組で行います。「自分たちのまちは、自分たちで守る」という郷土愛護の精神で、技術向上と団結心を養うことを目的に2年に一度、その正確さや速さなどを競います。

今回の大会には、ポンプ車操法の部に3チーム、小型ポンプ操法の部に15チームが参加。当日は、団員と家族や消防団OBなどが見守るなか、指揮者の号令のもと全力で駆け抜けました。

各チームの操法が披露されると、消防団員や見学に訪れた人々からは、大きな拍手が送られていました。

最優秀賞の2隊は、7月29日に丹波自然運動公園で開催される第25回京都府消防操法大会に出場します。

大会結果は次のとおりです。

ポンプ車操法の部

最優秀賞 丹波支団第二分団

優秀賞 瑞穂支団第一分団

小型ポンプ操法の部

最優秀賞 丹波支団第四分団

優秀賞 丹波支団第三分団

丹波支団第七分団

特別賞

団長奨励賞 和知支団第四分団

個人賞

ポンプ車操法の部

指揮者 平尾隆幸(丹波支団第二分団)

一番員 出田 裕(丹波支団第二分団)

二番員 園田 巧(和知支団第三分団)

三番員 安井 寿(丹波支団第二分団)

四番員 山本正史(丹波支団第二分団)

小型ポンプ操法の部

指揮者 太田祐宣(丹波支団第四分団)

一番員 樹山和将(丹波支団第三分団)

二番員 猪田卓二(丹波支団第三分団)

三番員 谷原一優(丹波支団第四分団)

丹波支団第七分団



筒先員を交代する指揮者と一番員



息が合った二番員と三番員

丹波支団 第三分団



防火水槽に吸管を投入する二番員



筒先を持ち、火点を目指す指揮者

瑞穂支団第一分団



とび口を持ち、構える三番員



火点に向けて構える一番員と補助する二番員

第3期京丹波町障害者基本計画及び 第5期京丹波町障害福祉計画・ 第1期京丹波町障害児福祉計画

本町ではこのほど、2023年度までの第3期障害者基本計画および2020年度までの第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画を策定しました。

この計画をもとに本町の障害のある人もない人もいきいきと自分らしく地域生活を送ることができるよう町づくりをめざします。

1 背景と趣旨

障害のある人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい生活が保障されるための法改正が矢継ぎ早に行われている中、平成28年6月に公布された「障害者総合支援法及び児童福祉法の一部を改正する法律」では、障害のある人の生活と就労に対する支援の一層の充実や、高齢の障害のある人による介護保険サービスの円滑な利用を促進するための見直し、障害児支援の拡充、サービスの質の確保・向上を図るための環境整備を行うことなどが規定されています。

これを受け、本町の実態に即した障害者施策の推進を図るとともに、障害福祉サービスや相談支援、地域支援事業等の提供体制をより一層充実するため、新たに「障害児福祉計画」を加え、「第3期京丹波町障害

者基本計画及び第5期京丹波町障害福祉計画・第1期京丹波町障害児福祉計画」として策定しました。

2 計画策定の体制

本計画の策定にあたり、町内在住の障害者手帳などをお持ちの方や介助・支援をされている方を対象に、生活やサービス利用の状況、福祉施策に対する考えを把握し、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

その調査結果や当事者団体との意見交換の結果も踏まえ、行政、障害者団体、福祉サービス提供事業者、相談員、支援事業者などで組織する「京丹波町地域自立支援協議会」において、協議を重ねて策定しました。

3 基本理念

みとめあい、ささえあい、
自分らしく生きる 京丹波町

5 重点政策

アンケートなどから見える本町の解決すべき課題を踏まえ、次の4つの政策を計画の重点政策として位置づけています。

重点政策 1 共生社会の実現に向けた地域の支え合いの仕組みづくり

現在実施している、障害や障害のある人に対する理解の促進や、差別・偏見等の解消に向けた広報・啓発活動を推進するとともに、学校での理解学習や交流、共同学習を促進することで、子どものうちからの理解・啓発に取り組めます。

また、地域での支えあいの仕組みづくりの一環として、近年全国的にも多発している自然災害などの緊急時に備えた地域ぐるみの見守り体制の強化を図ります。

重点政策 2 高齢化などに対応したサービスの提供体制の整備

地域の特性や利用者の状況に応じ、町が主体となって実施している地域生活支援事業の更なる拡充を検討するとともに、連絡会、勉強会の実施により、事業所間の連携、情報共有を促進し、サービスの質の向上を図ります。移送サービスについては、高齢者の免許返納を推進するため、

本計画では、「第2期京丹波町障害者基本計画」の理念を引き継ぎ、障害のある人も自信と誇りを持って、地域の中で自分らしく生きることができ、安心して暮らせるまち、また、地域で暮らすすべての人がお互いに活かしあい、必要とされ、ここに住んでいて良かったと思える、助け合いと活力ある「健康の里づくり」の実現をめざします。

4 基本目標

基本理念の実現に向けて、6つの基本目標を設定し、施策を推進していきます。

① 障害に対する理解の促進

住民一人ひとりの理解と協力を促進するため、啓発活動の更なる推進に努めます。

② 福祉サービスの充実

本町では、近年、人口減少や少子

町営バスの運行の充実を図るだけでなく、町営バスを補完できる新たな交通手段の確保をめざします。

重点政策 3 ライフステージに応じた切れ目のない支援の充実

障害のある人の家族の高齢化が進む中、親亡き後の生活に対する不安が高まっています。また、特に若い世代においては、現在十分な収入が得られないことなどに対する不安の声も多く、早期から自立した生活を送れるよう、地域一体となった支援体制の充実に努めます。

重点政策 4 災害発生時に備えた関係機関との連携強化

「避難行動要支援者名簿」を関係機関などと共有することや、登録希望者に対する個別計画の策定により、平常時から災害に備えた支援体制を整備するとともに、災害時における要支援者の情報把握や防災情報の伝達、避難誘導などに迅速に対応できるよう、関係機関との情報共有の更なる強化を図ります。

6 数値目標などを設定

障害のある人などの自立支援の観点から、地域生活への移行や就労支援といった課題に対応するため、2020年度を目標年度とし、必要な

高齢化が進んでおり、障害のある人の高齢化の進行も課題となっています。近隣市町とも連携した障害福祉サービスなどの基盤整備・充実を図ります。

③ 保健・医療の充実

障害種別や程度に関わらず、個々の現状やニーズにあった保健・医療サービスを提供できるよう支援体制の充実に努めます。

④ 教育・育成支援の充実

障害の早期の発見・早期療育に努め、また、乳幼児期から学校卒業後の地域移行に至るまでの継続的で貫性のある支援体制の充実を図ります。

⑤ 雇用・就労、生きがいづくりの推進

障害のある人が地域でいきいきとした生活を送ることが出来るよう、雇用・就労の促進のため、関係機関と連携し、また、継続・定着に向けた取り組みも推進します。

⑥ 福祉のまちづくりの推進

公共施設、道路・交通環境、住宅などのバリアフリー化を推進するとともに、情報伝達手段の充実により、だれもが情報を入手しやすい環境づくりに取り組みます。

障害福祉サービスや障害児通所支援などの提供体制の確保に係る目標として、数値目標を定めています。また、この目標の達成にはさまざまなサービスの充実も必要となります。このため、障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用見込み量と必要量の確保を活動指標として定めています。各サービスなどのこれまでの利用実績やニーズなどを踏まえ、サービス量を見込んでいます。

7 計画の推進体制

● 連携と協働で推進

障害者施策は、保健、医療、福祉、教育、雇用など幅広い分野にまたがるものであり、計画の推進にあたっては、庁内関係各課や関係機関・団体との連携はもとより、障害福祉に関する事業所、地域住民との協働により取り組みを進めます。

● 点検・評価で見直し

本計画に基づく施策を計画的に推進するため、各施策の実施状況などについて、毎年度、「京丹波町地域自立支援協議会」において進捗状況の点検と評価を行い、必要に応じて、随時見直しを行いながら、計画の進捗管理を行うこととしています。

計画で定めるサービス

自立支援給付など

障害福祉サービス

介護給付

- ・居宅介護
- ・行動援護
- ・同行援護
- ・生活介護
- ・短期入所
- ・施設入所支援
- ・療養介護

訓練等給付

- ・就労移行支援
- ・就労継続支援(A型)
- ・就労継続支援(B型)
- ・共同生活援助(グループホーム)
- ・就労定着支援
- ・自立生活援助

相談支援

- ・計画相談支援
- ・地域移行支援
- ・地域定着支援

新サービス

補装具

- ・補装具費の支給

自立支援医療

- ・更生医療
- ・育成医療
- ・精神通院医療

児童福祉法に基づくサービス

障害児支援

- ・児童発達支援
- ・放課後等デイサービス
- ・障害児相談支援
- ・保育所等訪問支援
- ・居宅訪問型児童発達支援

地域生活支援事業

必須事業

- ・相談支援(障害者相談支援事業)
- ・成年後見制度利用支援事業
- ・意思疎通支援事業
- ・日常生活用具給付等事業
- ・移動支援事業
- ・地域活動支援センター事業

任意事業

- ・福祉ホーム事業
- ・訪問入浴サービス事業
- ・日中一時支援、生活サポート事業

障害のある人

※上記は、計画で数値を定めるもの。

表彰

国民の行政相談解決に貢献 行政相談委員瑞穂地区担当の長谷川博文さんに 京都行政監視行政相談センター所長感謝状

行政相談委員瑞穂地区担当の長谷川博文さん（水原）に、国民の行政に対する苦情解決の貢献に感謝する、京都行政監視行政相談センター所長感謝状が贈られました。長谷川さんは平成27年4月、行政相談委員を委嘱され、今年で4年目になります。国民から省庁が管轄している

国道や河川などに関する苦情の解決に尽力。「図らずも受賞となった」と謙遜し、「これからも地域住民の心配ごとにお答えして、京丹波町が住みよいまちになるよう力をいれたい。また、気軽に相談しにきてもらいたい」と思いを語りました。



感謝状を贈られた長谷川さん

表彰

近畿管区警察局長・近畿防犯協会連絡協議会長賞に 南丹船井防犯推進委員協議会瑞穂支部

平成30年度春の防犯功労者表彰式で近畿管区警察局長・近畿防犯協会連絡協議会長賞

の見守り活動を行い、防犯訓練や防犯イベントに参加しています。

は8人2団体が受賞し、団体の部で南丹船井防犯推進委員協議会瑞穂支部に贈られました。

平成27年度から松山駐在所、水原駐在所と合同で取り組んでいる、特殊詐欺の被害防止の寸劇は好評で、昨年度の出演回数は24回。町内外から公演依頼を受けています。台本は訪れる地域によって内容を変え、「実際に京丹波町で起こった事例を台本に取り入れている」と工夫をしています。京丹波町では、振込み詐欺の被害がゼロと同支部の活動効果が見られます。

同支部は平成6年4月に設立し、現在23人で活動しています。地域の安心安全な暮らしを守るため、青色防犯パトロールや学童

塩田満義支部長は「『寸劇を見て被害を未然に防ぐことができた』と言ってもらい、やりがいを感じている。これからもこの地域が犯罪の



表彰状を手にする塩田支部長

表彰

平成29年度全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部で準特選 国土緑化推進機構会長賞に和知小学校

自分たちが暮らす地域の森林資源の学習や校内の緑化活動に取り組む和知小学校が、平成29年度全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部で準特選に輝き、6月10日に行われた福島県南相馬市の全国植樹祭で表彰されました。

丹波町の緑を守る活動を知る学習や、府立林業大学の協力で、京丹波町産材6樹種を使って木琴を作製するなど、地域と一体となった取り組みを行っています。

教本好央校長は「たくさんの方の協力で貰えた賞で感謝しています。教科書では他府県のことしか触れていないので森林資源が豊富な京丹波町から学ぶことがたくさんあります。児童には、京丹波町の未来に夢が持てるようになることで自分の未来を描ける人になってほしい。京丹波町に誇りが持てる人になってほしい」と話しました。



緑の少年団（和知小学校提供）



「ウィードの森」を見学（和知小学校提供）



校内緑化活動でしだれ桜を植樹（和知小学校提供）



町産材で作った木琴を見せる児童（和知小学校提供）

ない安心で安全に暮らせる社会になるよう地域の方と一丸となって活動が続けていきたい」と気を引き締めました。



安心ほっと便り

京丹波町の「安全・安心まちづくり」を支援している
関西大学社会安全学部の取り組みを随時お伝えします



関西大学
社会安全学部

Series 01

関西大学社会安全学部の近藤誠司研究室(防災情報学)は、平成26年春に開講しました。ぼうさい甲子園で優秀賞(平成28年度、29年度)、防災まちづくり大賞で消防庁長官賞(平成29年度)、そして今年の春には学生福島賞(復興大臣表彰)を受賞しています。京丹波町では、平成27年度からケーブルテレビと協働して、さまざまなプロジェクトを行っています。今回は、その概要を紹介します。



「安心ほっとライフ」の制作



「不審火」が起きにくい環境づくり
消防や警察のみなさんとコラボして
番組づくりをしています



折り紙だるまプロジェクト



友好町・福島県双葉町の特産だるまを
折り紙で作り、交流する取り組みです



火の用心CMプロジェクト



ご存知、火の用心のスポットCM
すでにのべ800人近くの町民が参加!



「安心ほっとさん」の制作



今年からスタートした新コーナー
町の“ほっとする取り組み”を紹介します

ALTから生徒、町の皆さまへメッセージ

平成29年7月から町内の小中学校で英語指導助手として勤務していたケーラ・サマーさんが、7月24日に任期を満了し、生徒や地域の皆さまとの思い出を胸に京丹波を立ちます。



Kyotamba is a beautiful town with very friendly and welcoming people.

この一年間、京丹波町に住み英語を教えたことは、言葉では言い表せないくらい、本当に素晴らしいものでした。京丹波町の美しい自然、親切な住民の方々、心温かな地域のことを、私は生涯忘れることはないでしょう。尊敬すべき先生たちや、聡明な子どもたちと共に学校で働くことができたのは、とても幸運なことであったと感じています。京丹波町での私の生活を支えてくださった皆様に、心から感謝しています。この町を離れるのはとても寂しいですが、また必ず戻ってきたいと思っています。

(私のかわいい素晴らしい生徒たちへ)

もし自分の夢があるなら、ぜひ夢を叶えてください。あなたたちは皆、将来有望で、これから輝かしい未来が待っています。これからも英語の勉強をどうぞ続けてください! あなたたちのおかげで、私の京丹波での経験が素晴らしいものになりました。皆さんに英語を教えることができて、本当に幸せでした。アメリカに帰るのはとても寂しいですが、またニューヨークへ是非遊びにきてください!

Kayla Somar

平成28年8月から町内の小中学校で英語指導助手として勤務していたクリストファー・マルホランドさんが、7月31日に任期を満了し、生徒や地域の皆さまとの思い出を胸に京丹波を立ちます。



Kyotamba is Super Cool!

京丹波町に住むことは、私にとって美しいと同時にワイルドで楽しいものであり、自分が求めていた田舎体験をすることができました。二年間、私を助けてくださった全ての方々、本当にありがとうございました。私はよく、京丹波町の空気の匂いや、春のカエルの鳴き声、夏の青々とした田んぼ、冬の豪雪、そして町の人々の親切な心を思い出します。私は古き良き日本人や田舎の良さを教えてくれた、生徒や地域の人たちを忘れることはないでしょう。

私の友人であり指導者にもなってくれた、子どもたちや先生方と共に仕事ができた、生活や目標についても学べたことは、とても幸運なことだったと思っています。学校の授業は、子どもたちが元気でかわいかったので、いつも楽しいものでした。どうぞ学ぶことを続けてください! 世界は広く、探求し学ぶことがたくさんあります。またニュージーランドかオーストラリアへの交流事業に参加してみるのも良いと思います。ニュージーランドに来て、私を訪ねてきてください。日本や世界のあらゆるところに、素晴らしい場所があります。

最後に、私を支えてくださった方々に、心から感謝します。

Christopher Mulholland





Dr's Message

いきいき健康術

第130回

町立病院・診療所の医師や専門職員が健康情報をお届けします。

『慢性腎臓病にならないために』

よしむらの お吉村了勇 病院長補佐（外科）火曜日の外来を担当
国保京丹波町病院 趣味:剣道（錬士六段の腕前）

現在、慢性腎臓病の患者さんは全国で 1,330 万人以上とされ、予備軍も含めると 2,000 万人にもなるといわれています。慢性腎臓病を放置するといつの間にか腎臓が悪化し透析を受けなければならない事になります。そのため、いかに早く見つけるかが極めて大事な事になります。

慢性腎臓病の原因としては次のようなものがあります。

- 1

糖尿病（最近一番多い原因です）
- 2

腎炎（何回も扁桃腺炎などにかかるなど）
- 3

高血圧（最近増えています）
- 4

メタボリック（高コレステロール）

腎臓病は初期には症状が出ませんので、早期発見には定期的な検診検査が必要です。

検査では、身体的変化の確認（むくみ、体重の増加）、尿検査により蛋白、糖、潜血などが出していないか、血液検査の結果（血中クレアチニン値（Cre）、尿素窒素値（BUN）、電解質）などをチェックします。特に尿検査で尿蛋白は陰性であることが正常です。

もし、陽性なら何らかの異常を疑うべきです。

町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いします 京丹波町病院 電話 0771-86-0220

さて、検査方法の近況について2点。
一つ目は、※1シスタチンCがCreよりも鋭敏な腎機能指標になり得るとして注目されています。Creに比べて栄養状態や年齢、性別に影響を受けにくく、早期の腎機能低下マーカーとして注目されています。二つ目は、日本腎臓学会では、「推算糸球体濾過率（eGFR）」による判定を推奨し、普及を図っています。この値は、病院などでの血液検査でも日常的に調べていますので、いつでも判定できます。

最後に、腎不全の程度は eGFR の値により5段階に分類されます。

第1から第3段までは、尿検査異常や軽度のCre値上昇などを認めますが、電解質異常は軽度で自覚症状が無いことが多いです。第4段階になりますと、Cre値が2 mg/dl 以上で軽度血液が酸性に傾きます。薬剤の排せ障害による蓄積も注意する必要があります。第5段階になりますと、末期腎不全状態で透析の導入となってきます。高度の尿素窒素血症、貧血、酸性血症、電解質異常、高血圧となり、尿毒症症状を示し、生命に危険がおよぶ場合も多いです。

このため、早期に尿と血液検査を受けて、早く腎臓病の可能性のある人を見つける必要が有りますので、いつでも病院にご相談いただければと思います。

※1 シスタチンC…血中に含まれる成分で、血液検査項目の一つ

消費料金に関するハガキは無視!

架空請求ハガキに関する相談が多く寄せられています

〈相談例〉

「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」と書かれた保護シール付のハガキが届いた。驚いて電話をしたら詳しい内容は弁護士からしてもらうと言われ、弁護士を紹介された。弁護士と名乗る男性から「訴訟取り下げ料」として **30 万円を請求**され、指示に従いコンビニでプリペイドカードを買い、書かれている番号を電話で伝えた。

〈注意〉

●「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」と書かれたハガキが届いても、電話をしないけません。架空請求は消費者を完全に特定して送っているわけではありません。名簿業者から購入した名簿を基にハガキを送り、「**最終通告**」「**訴訟**」「**強制執行**」といった言葉で不安にさせ、驚いて電話をかけてきた人に高額な金銭を要求します。

●「**取り下げ等のお問い合わせ相談窓口**」に電話をするとこちらの電話番号が知られ、その情報を元にさらに金銭を要求されることもあります。心当たりがなければ決して電話をしないけません。

●裁判所から届く書類（訴状）は「**特別送達**」と記載された封書で届き、郵便局員による手渡しが原則です。

ハガキで届くことは絶対ありません。

すぐに消費生活相談窓口か、最寄りの警察にご連絡ください。

＊参考のため、実際のハガキの文面を掲載します。

- ①「貴方の利用されておりました契約会社、もしくは運営会社側」（具体的な事業者名や商品名の記載がない。）

②「万が一、身に覚えのない場合は、至急連絡をしてください」（訴訟取り下げ最終期日 ○月○日（到着後すぐの期日…至急電話をするように促す）

③「**法務省管轄支局**」「**民事訴訟〇〇センター**」（公的機関のような名称。法務省とは一切関係がありません。）
- こんな言葉があったら要注意！

消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ

訴訟管理番号（て）

この度、貴方の利用されておりました契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されました事を改めてご通知致しますとともに、訴訟取り下げ最終期日を経て裁判を開始させて頂きます。また、このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全面的に受理されまして裁判所の許可を受けて執行官立会いのもと、現預金や有価証券及び、動産や不動産物の差し押えを強制的に執行させて頂きます。尚、訴訟取り下げなどのご相談につきましては当局にて承っておりますので、下記までお問い合わせ下さい。この度は、民事訴訟に関するご迷惑となりまして、個人情報保護や守秘義務などが御座いますので、ご本人様からご連絡頂きます様お願い致します。

訴訟取り下げ最終期日 平成30年 月 日

取り下げ等のお問い合わせ相談窓口

03- -

受付営業時間（日、祝日は除く）

平日 9:00～20:00 / 土曜日 11:00～17:00

法務省管轄支局 国民訴訟お客様管理センター

〒100-8977 東京都千代田区



『消費生活相談窓口』 1人で悩まず、お気軽にご相談ください。

京丹波町では、消費生活に関する相談や情報提供をお受けしています。

消費生活に関する連絡・相談先

京丹波町消費生活相談窓口
電話：0771-82-3803
相談日：水・木曜日

南丹市商工観光課内
電話：0771-68-0100
相談日：月・火・金曜日

南丹市の相談窓口もご利用いただけるようになりました!!

11 | NO.153

10



地域おこし協力隊は、都市住民など地域外の人材を地域社会の担い手として受け入れ、地域力の維持強化を図る制度です。平成29年度の実施自治体数は997、隊員数は4830人。本町では平成26年度に募集を始め、現在4人が地域の一員として農林業や地域活性化の分野で活動しています。このほど移住定住の担い手として、河田さんを農林振興課にお迎えしました。

大阪府出身。家庭の事情で九州、東京、北海道、大阪、長野などに住所を移し、旅行を含めると47都道府県を訪れています。ワンランク上の英語を学ぶため、カナダに留学。語学を生かして、外資系企業に就職し、外国と関わる仕事をしてきま

した。そんな中、「最後は日本人として世界に日本のいいところを知ってもらいたい。海外の方に日本の田園風景を訪ねて来てもらいたい」と思うようになり、地域おこし協力隊に手を挙げた。6月から京丹波町を拠点に、移住定住に向けた活動を開始。町内の空き家バンクの物件を回り、「京丹波町を知ることから始めた」と好奇心がとまりません。

「移住定住について、ショートステイから知ってもらったりいろいろなことを試し、検証して可能性を探していきたい。今までの私のネットワークを使い、外の人につなげていけたらと思います。最終的には、まちの人に喜んでもらいたい」と意気込みます。

移住定住に向けて 河田朋子さん(上豊田)

お茶の間

「こんにちは赤ちゃん」 コーナー 申し込み募集

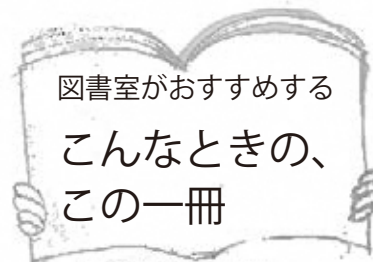
〈対象者〉
町内在住で、申し込み時に生後1歳未満のお子さま
〈申込方法〉お子さまの顔写真に申込書を添えて、役場または支所まで、持参・郵送・メールのいずれかで届けてください。申込書は役場本庁、支所、瑞穂保健福祉センターにあります。

【問】
京丹波町企画政策課
電話 0771-82-3801
Eメール
kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



図書室がおすすめする

こんなときの、 この一冊



『3びきのかわいいオオカミ』

ユージーン・トリビザス 文
ヘレン・オクセンバリー 絵
こだまともこ 訳／富山房

この絵本は、皆さんが誰でも知っている「3匹の子豚」のお話のパロディー本です。

「3匹の子豚」は、悪いオオカミに家を壊されてしまうというお話ですが、この「3びきのかわいいオオカミ」は、オオカミが建てた家を悪い大ブタがとんでもない方法で壊していくお話です。オオカミが建てたレンガの家をハ

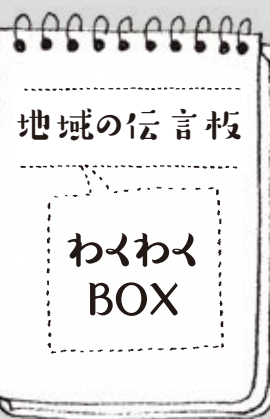


ンマーで、コンクリートの家を電気ドリルで、それはもう凄い破壊力で圧倒されます。しかし最後の家では、急展開ハッピーエンドで終わるのです。

この絵本は子どもが読んでも楽しいですが、大人が読んでも楽しめる1冊です。

(和知ふれあいセンター図書室 宇野二美さん)

【図書室ご案内】中央公民館（蒲生）、山村開発センターみずほ（大朴）、旧梅田保育所（鎌谷下）、三ノ宮基幹集落センター、質美振興センター、和知ふれあいセンター（本庄）
【貸出期間】2週間 【貸出冊数】1人1回5冊まで



このコーナーは、「身近に起こった出来事」や「感動したこと」、「みんなに教えてあげたい・わたしの健康術」、「こんなサークル活動始めました」、「まちづくりについての意見」、「広報紙への感想」、「イラスト・絵画・写真」、「エッセイ・詩・俳句、川柳」など、読者の皆さんの身近な情報発信としてご利用ください。

はがきに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、情報をお寄せください。匿名希望やイニシャルの場合は、氏名を記入したうえで、その旨を明記ください。（お寄せいただいた情報は随時、掲載します。）

【送り先】
〒622-0292（住所不要）京丹波町企画政策課広報京丹波「わくわくBOX」係
ファックス／82-2500 Eメール／kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



通り始めを拍手で見送る参加者ら

利便性の向上に期待
府道広野綾部線（広野バイパス）の完成祝賀式
府道広野綾部線「広野バイパス」の完成祝賀会が広野公民館前で行われました。太田昇町長や山崎善也綾部市長らを来賓に招き地元住民や関係者、約60人が出席し、広野バイパスの完成を祝いました。整備された道路は、京丹波町と綾部市を結ぶ幹線道路で、由良川左岸沿いを通る延長1.4キロが整備されました。広野バイパスは、国道27号線代替道路や沿線住民の生活道路として、京都府が平成5年から約15億円をかけて整備しました。

町の魅力を写真一枚で表現
多様な作品81点
京丹波町観光協会主催「第6回京丹波町観光写真コンテスト」の表彰式が6月19日、道の駅「丹波マーカー」で行われました。コンテストは、「わたしが見つけた京丹波の観光資源」をテーマに町内の四季折々の名場面を募るため、昨年5月から告知し、平成30年1月21日から2月24日までを募集期間として実施。町内外から、京丹波町の景観や伝統行事などを題材とする81点が集まり、3月26日の審査会で入賞作品11点を決定しました。



特選・京丹波町長賞を受ける黒田寛さん

表彰式では、橋本健次審査委員長（写真家）が「今回も新しい京丹波町の魅力ある写真の応募があった。まだまだ魅力のある所があるので来年も期待している」と講評しました。
※受賞作品および受賞者の紹介は16ページ

わたしたちの町	
人口	14,335（－17）
男	6,817（－11）
女	7,518（－6）
世帯数	6,328（－4）
7月1日現在／（ ）は前月比	

編集後記
暑い夏がやってきました！我が家でも小さなプールを膨らまし、プール開きを行いました。息子は無邪気に水遊び。見守る親は汗だく。来年はもう少し大きなプールを買おうかな… HB

ふるさと応援寄付金のお礼		
		＊敬称略
片山	山治	10万円
小山	健一	1万円
大菅	知樹	1万円
＊掲載内容は寄付者の了解を得ています		

梅千用の青梅収穫
質志の農家女性グループ「野路の会」の梅千作りが始まり、6月17日、「おいしい食の応援隊」ボランティアが青梅収穫に参加しました。
「野路の会」は、地域の梅を有効活用して昔ながらの梅干し作りを平成15年から取り組んでいます。
この日は、京都市内や遠くは兵庫県尼崎市から「おいしい食の応援隊」20人が参加し、青梅収穫の手伝い



青梅を収穫する「おいしい食の応援隊」

をしました。毎年参加している田村明敬さん（尼崎市）は「京丹波町は空気がおいしくて、毎年楽しみにしています。野路の会の皆さんの手助けが少しでもできればと参加しています」と汗を流して青梅の収穫を楽しんでいました。



社会教育委員に教えてもらいながら切り絵をする生徒

双葉町と心の交流を！
双葉切り絵プロジェクト
東日本大震災の学習と友好町双葉町に送る切り絵づくりが6月7日、和知中学校で行われました。
この取り組みは、町教育委員会が物資による復興支援「ものの交流」から「心の交流」へつなげようと企画したもので、双葉町名物の双葉だるまを題材に切り絵に取り組みました。授業では、全校生徒が参加し、町職員が昨年10月に双葉町を訪問した時の小学校や中学校、商店街の様子、東日本大震災から7年が経過しても、今なお続く被災者たちの避難生活の現状を報告しました。報告の後、生徒たちは切り絵に取りかかり、社会教育委員らに教えてもらいながら、復興の願いを込めて丁寧に切り抜きました。
この切り絵は、町内全ての中学校で行われ、切り絵はがきは、7月下旬に双葉町を訪問する代表生徒がプレゼントする予定です。

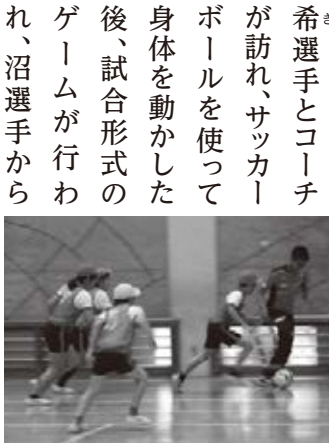


プール授業の様子

待ちに待ったプール開き
町内小学校でプール開き
6月、町内の各小学校がプール開きを迎えました。竹野小学校では、6月22日に待ちに待ったプール授業が行なわれました。18日がプール開きの日でしたが、天候に恵まれず4日遅れのプール開きとなりました。26日にもプールの授業が行なわれ、3年生から6年生の19人が水しぶきに歓声をあげました。この日は気温31度、水温28度。蒸し暑くプールに入るのに最適な日となりました。5・6年生と3・4年生の2つのグループに分かれて授業が行なわれ、3・4年生は水中ジャンケンやビート板を使って泳ぎ、プールの授業を楽しみました。

プロの技体感
京都サンガF.C.選手が出前授業
京都サンガF.C.の選手が出前授業を行う「アカデミースペシャル」が5月29日、全学年を対象に下山小学校で行われました。
この授業は、身体を動かす楽しさや、サッカーの魅力を知ってもらうため、府内のホームタウン10市町で行っています。

京丹波町は、平成29年10月10日に京都サンガF.C.とホームタウン協定書を締結しています。
授業では、ミッドフィルダーの沼大



沼選手とゲームを楽しむ児童たち

が参加し、町職員が昨年10月に双葉町を訪問した時の小学校や中学校、商店街の様子、東日本大震災から7年が経過しても、今なお続く被災者たちの避難生活の現状を報告しました。報告の後、生徒たちは切り絵に取りかかり、社会教育委員らに教えてもらいながら、復興の願いを込めて丁寧に切り抜きました。
この切り絵は、町内全ての中学校で行われ、切り絵はがきは、7月下旬に双葉町を訪問する代表生徒がプレゼントする予定です。



ホッケー部の活動成果を発表する生徒ら

須知高校生が町議会で学習成果を発表
私たちの取り組み
須知高校の教育振興の一環として6月7日、同高の生徒7人が学習成果を京丹波町議会で発表しました。発表は、生徒の学習成果を広める機会として、英語検定に挑戦した生徒や「森の京都」観光プランコンテストに参加した生徒、男子ホッケー部の生徒らが、町議員や行政職員、町内教育関係者に交付金を活用した活動を紹介しました。昨年、英語検定二級に合格した同高三年の鈴木隆之介さん（鎌谷下）は「英語に苦手意識があったが、二級を取得して自信を持てるようになった。私のような消極的な人にチャレンジする機会を与えてもらえ、未来をささえてもらっています」と話しました。

須知高校の教育振興の一環として6月7日、同高の生徒7人が学習成果を京丹波町議会で発表しました。発表は、生徒の学習成果を広める機会として、英語検定に挑戦した生徒や「森の京都」観光プランコンテストに参加した生徒、男子ホッケー部の生徒らが、町議員や行政職員、町内教育関係者に交付金を活用した活動を紹介しました。昨年、英語検定二級に合格した同高三年の鈴木隆之介さん（鎌谷下）は「英語に苦手意識があったが、二級を取得して自信を持てるようになった。私のような消極的な人にチャレンジする機会を与えてもらえ、未来をささえてもらっています」と話しました。

📷 第6回 京丹波町観光写真コンテスト



特選 京丹波町長賞「凍寒の滝」
黒田 寛さん(大阪市)



準特選 京丹波町教育長賞「地底探検」
広瀬 誠さん(京丹波町角)



準特選 京丹波町商工会長賞「九手神社の紅葉」
大倉 弘士さん(亀岡市)



準特選 京都府観光連盟会長賞「春麗」
浅野 三雄さん(京丹波町橋爪)

入選

新発田 和子さん
(京丹波町安井)

小藏 武三さん
(滋賀県草津市)

山下 文行さん
(亀岡市)

朝子 照夫さん
(京丹波町実勢)

堀島 信之さん
(福知山市)



準特選 京丹波町観光協会会長賞「夏の思い出」
築山 忠則さん(京丹波町小畑)



準特選 京都新聞賞「ワ〜ィ 刈れたヨ!」
海道 ただかずさん(亀岡市)

第7回京丹波町観光写真コンテスト応募期間は、平成31年1月20日から2月23日まで。京丹波の観光資源をとらえた作品をお待ちしています。

【問】京丹波町観光協会 電話 0771-89-1717